

いいとこどり直方

企業さんへもオススメ♪

広い土地があり、高速インターチェンジもすぐそばです！



自然と利便性が共存

「休日は自然の中でのんびりしたり、土や植物に触れていたい。でも、仕事や学校、ショッピングは都会に出たい」その希望、直方なら叶います！

まちの中心部を川がゆったり流れ、連なる山々が人々を見守る。

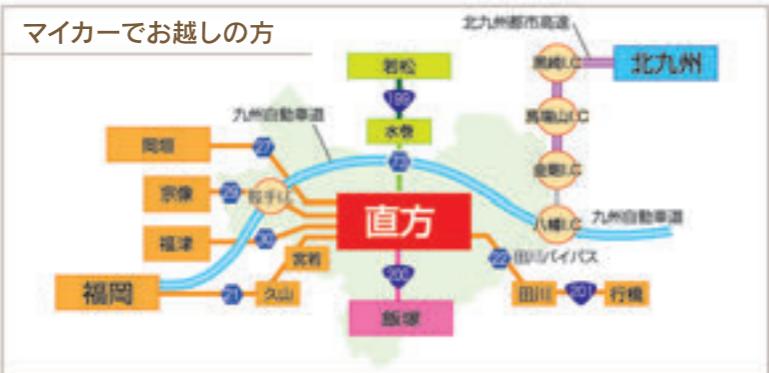
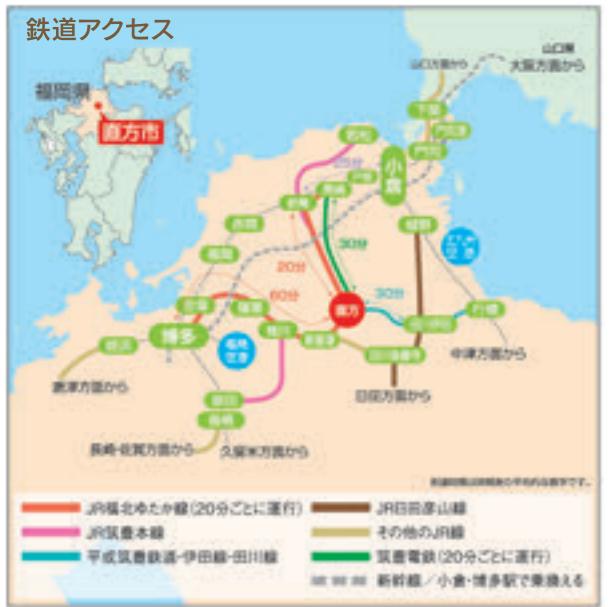
そんなロケーションの中、鉄道を中心とした交通網は各方面へ伸び、広域移動に便利です。

休日は、サイクリングやオートキャンプなどアウトドアを満喫できるのも魅力です。



NOGATA PHOTO GALLERY

直方市フォトギャラリー



交通アクセス

【電車】●JR博多駅から約1時間 ●JR小倉駅から約50分

【車】 ●八幡・馬場山インターから約15分

●鞍手インターから車で約13分

【高速バス】●天神・福岡空港から約1時間 ●小倉駅から約40分

【飛行機】●北九州空港から車で約30分(九州自動車道経由)



さあ、直方の魅力にふれよう！

△のおがタッチ△



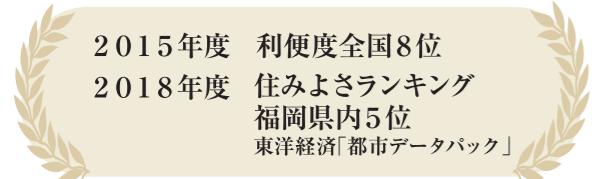


住みやすさに ミタッチミ

市のカタチは
「ハートのカタチ」によくっています。



ハートフルなまちづくりで
ランクアップを目指します♥



直方も地球もずっと続くように

持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)とは、2030年までに全世界で取り組む共通目標として2015年9月の国連サミットで採択されました。持続可能な世界を実現するため、17のゴール(目標)を掲げ、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国が自らの国内で取り組まなければならない課題を含む、全ての国に適用される普遍的(ユニバーサル)な目標です。その達成のために、各国政府や自治体、NGOやNPO、企業などみんなが連携することとされていて、日本も積極的に取り組んでいます。直方市もこのゴール(目標)を目指し、市民のみなさんと協力して、持続可能なまちづくりに取り組みます。



Environment

生活環境への取り組み

ショッピング

大型複合商業施設のほか、スーパー・家電品店、ホームセンター・ディスカウントショップなどが点在し、買い物には困りません。また、市内には3件の農産物直売所があり、安全・安心で新鮮な野菜や果物、手作りのお惣菜が並んでいます。



自然

直方市は、福智山山系の深い緑と遠賀川水系の豊かな水に抱かれています。春には河川敷に菜の花や桜の花が咲き、体中に春を感じながら散策やサイクリングができます。夏には、福智山に登ったり、沢での水遊び、ホタルやカワセミにも出会えます。秋は、紅葉やススキを愛で、冬には福智山の雪景色、コウノトリとの出会いも楽しめます。自然を守るための市民活動も行われています。



自然を感じながら
ちょっと便利に
暮らせる場所



アクセスの良さ

福岡・北九州の両政令市の間にあり、高速道路や鉄道等へのアクセスの良さから、空港や新幹線へのアクセスにも恵まれています。(参考:裏表紙)



Safety

安全・安心への取り組み

災害情報の配信

災害情報配信サービス(つながるのおかた、まもるくん、緊急速報メール、LINE)で、災害時には確実、迅速に情報の配信を行っています。また、リアルタイムで災害情報を確認することができるよう市HPに災害情報を掲載しています。



防災パートナーシップ協定の締結

災害が発生または発生する恐れがある際に、協力して災害・防災に関する情報や避難場所を迅速に市民に提供することが目的です。市は九州朝日放送㈱と地元FMラジオ局ちょっとらじおと協定を締結しています。



自主防災組織支援

いつ起こるかわからない災害に対し、地域で対応できる体制を整えることが大切です。地域の防災活動を担う自主防災組織に対して、資機材の購入や活動に関する補助を行うことにより、設立と活動の支援を行っています。また、出前講座を通じて、地域の方への自主防災組織設立の呼びかけや、自主防災組織への講習などを行っています。



Nature

環境への取り組み

資源リサイクル推進

[資源リサイクル回収]
登録制で月に1度回収ボックスを設置し、回収を行っています。(空き缶、ビン・ペットボトル・その他プラスチック・台所用小金属)

[資源拠点回収] (13品目19分別)
市の回収拠点へ自己搬入することができます(かん・びん・ペットボトル・その他プラスチック・台所用小金属・古紙・雑古紙・紙製容器包装・紙パック・廃水銀・乾電池・水銀を使用した温度計等)、廃食用油・小型電子機器・古着)。集まつた資源物はリサイクルし、再商品化されます。



市内一斉清掃

市と環境衛生連合会が共催で年に2回、地元企業やボランティア団体、一般市民が協力して、市内のボランティア清掃を行い、みんなでふるさとの環境維持に取り組んでいます。





子育て 健康長寿に タッチ

子育て広場事業

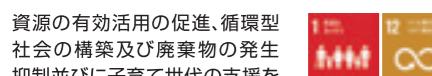


地域子育て支援センター内に子育て広場を開設しており、妊婦・就学前の児童及び保護者を対象に子育て相談を行っています。赤ちゃん広場に来ている妊婦や赤ちゃんの保護者の相談を受けています。

出張広場として、ユメニティのおがたで実施している日もあります。開催日時は市のホームページやほのぼのだより(センターだより)で確認できます。



子育て応援リユース協働事業「りちゃいけ」



資源の有効活用の促進、循環型社会の構築及び廃棄物の発生抑制並びに子育て世代の支援を図るため、家庭において不要となった子育てに関する物品の情報交換、譲渡及び譲受けの場を提供しています。



Parenting 子育て環境にタッチ

ファミリー・サポート・センター事業



[ファミリー・サポート・センターのおがた]
直方市大字植木849-1(直方市地域子育てセンター内)
TEL. 0949-28-9103



地域において育児の援助を受けたい「おねがい会員」と育児の援助を行いたい「まかせて会員」を組織化し、相互援助活動を行うことにより、子どもが健やかに育つ環境づくり、子育てをしている人が安心して労働及び社会参加等ができる環境づくりをしています。



直方中央公園 リニューアルオープン



平成31年4月、直方中央公園がリニューアルオープンしました。子どもから高齢者までが気軽に楽しめる園内には、大型複合遊具や健康遊具を設置。四季を感じられるよう池や森を活かした自然散策遊歩道もあります。道もトイレもバリアフリー対応!



セカンドブック事業

絵本を読むことを通じて、赤ちゃんとゆっくり心触れ合うひとときを持てるよう市内在住の満1歳を迎えるお子様におすすめの絵本をプレゼントしています。「はじめてのお誕生日おめでとう」という気持ちを込めて、誕生日にあわせて市内の書店からお届けします。



高校での子育てサロン



令和元年12月18日、市と福岡県立筑豊高等学校による「直方市子育てサロンの官学協働事業実施に関する協定」を締結しました。月1回程度、高校校舎を利用して子育てサロンを開催。通称「ちくちくワンダーランド」と称し、子育て支援センターの職員と同校生活デザイン科の生徒たちが連携。親子同士の交流や親子と生徒との世代間交流の促進、子育てに関する悩み相談などを行っています。



教育環境の整備

児童・生徒が授業に集中できる快適な教育環境にするため、全ての小中学校にエアコンを設置しました。また、情報活用能力の育成に向けて、令和2年度に全ての小中学校に高速大容量の校内無線LAN環境を整備するとともに、令和5年度までに全ての児童・生徒に1人1台のタブレット端末を計画的に配置していきます。



病児保育事業

保護者が仕事等の理由により、病気が治りかけの児童を看護できないときに利用できる一時預かり事業を行っています。

- 【預かり場所】
- ・鞍手乳児院(鞍手町)
- ・あざかみこどもクリニック



多子世帯給食費補助事業

多子世帯が子育てしやすい環境を充実させるため、市独自で給食費の補助を行っています。小学校就学前の子どもが2人以上いる場合、2番目の子は保育園・認定こども園の保育料および副食費が無料になります。



Longevity 健康長寿にタッチ

地域介護予防活動支援事業



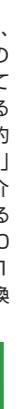
介護予防に効果のある「いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操」に取り組む週1回の自主活動の支援を行っています。



のおがた元気ポイント事業



65歳以上の市民を対象に、健康診査や介護予防事業の参加者へポイントを付与しています。市民の生涯にわたる健康の増進に向けた自主的な努力を促進し、「健康寿命」の増進を図り、医療費及び介護給付費の抑制につなげる目的としています。20ポイントを集めると年度に1回2,000円の商品券と交換することができます。





農業・産業に ミタッチミ



Industry

産業にタッチ

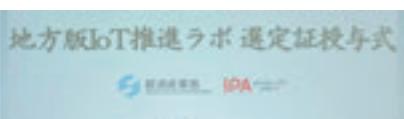
地方版IoT推進ラボに選定

令和元年に経済産業省の「地方版IoT推進ラボ」(第5弾)に選ばされました。地方におけるIoT(モノのインターネット)やAIの活用などの取り組みを、国が専門家の派遣や最新情報の提供等で支援するものです。市では、「直方市IoT推進ラボ」として、中小企業の人手不足の解消や生産性の向上に向けて取り組んでいます。

ポイント1 IoTやAIの技術を導入することにより、市内中小企業の生産性を向上

ポイント2 地元企業の付加価値を増大させることにより、新たな雇用を創出

ポイント3 地域経済の活性化



地方版IoT推進ラボ選定証授与式の様子

地域未来牽引企業

直方市には、地域の特性を活かして高い付加価値を創出し、地域経済への影響力が大きく、成長が見込まれるとして国から選定を受けた企業があります。

★直方市内工業団地の
主な立地企業は
こちらからどうぞ



Agriculture

農業にタッチ

「ふくのこ」生産量日本一!

直方市では、平成30年度から高アミロース米「ふくのこ」を栽培しており、その生産量は日本一となっています(平成30年産)。「ふくのこ」は麺やパン等への加工適正が高く、α化米粉(炊いた米を粉砕したもの)を使うことにより、従来使用されてきた増粘剤やグルテンなどを使わずに、麺やパンを製造することができます。

また、主食用米としては、「パラパラした食感」「型崩れしにくい」等の特徴から、炒飯やピラフ、雑炊等の料理に適しております。博多の老舗中華料理店「福新楼」の炒飯で使用されています。

さらに、レジスタントスター(難消化性デンプン)を多く含むことから血糖値上昇抑制効果や便秘の救世主としても期待されています。

今後、さらなる作付け拡大とともに、「ふくのこ」を活用した食事処や土産品などの商品化を通じて、農家の所得向上や地域おこしにつなげていきます。



地域営農組織の 機能強化支援事業

地域農業の持続的な発展のため、効率的かつ安定的な経営を行える認定農業者を中心とした「担い手」の育成・確保及び法人化、集落営農の組織化を推進しています。



ふくのこシフォンケーキ



歴史・文化に ミタッチミ



県指定史跡
水町遺跡公園

古墳時代の豪族のお墓で、公園として整備され、公開されています。鉄刀、馬具、鐵鎌などたくさんのが見つかっています。



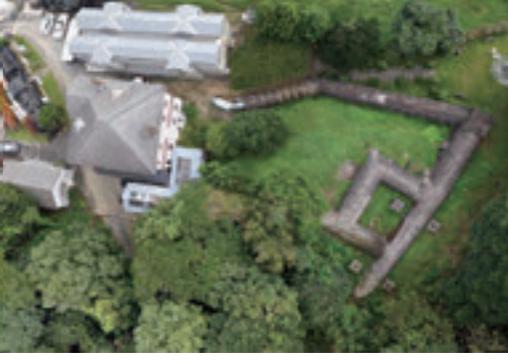
国指定史跡 筑豊炭田遺跡群

旧筑豊石炭鉱業組合直方会議所 及び救護練習所模擬坑道



古高取

1600年代の初め豊臣秀吉による朝鮮出兵の際に半島から連れ帰られた陶工によってはじめられた高取焼は、伊万里、萩、薩摩などの著名な焼き物と同じ歴史を持っています。永満寺宅間の地ではじめられ、1614年、頓野内ヶ磯へ移りました。当時最大級の規模と最先端技術を誇り、生産された茶器は多くの茶人や武士たちに愛されました。



明治以降、日本の近代化の流れの中で、直方が重要な地位にあったと知ることができます。麻生・安川・伊藤など炭鉱王が名を連ねる譜事録も残されています。本館建物は明治43年に当時の筑豊石炭鉱業組合が直方会議所として建設したもので、東アジア最古の本格的な救護練習所模擬坑道とともに平成30年10月国指定史跡になりました。

直方藩

江戸時代の前半(1623年から1720年)、直方は黒田官兵衛を藩祖とする福岡藩の支藩の城下町でした。初代福岡藩主黒田長政の四男高政が直方に東蓮寺藩を置き、三代藩主長寛のとき直方藩と改名しましたが、四代藩主長清の子が、福岡藩を継いだため、約百年の歴史を閉じました。



レトロ建築群にタッチ

明治から昭和にかけて筑豊炭田の中心都市として栄えた当時の歴史を物語る

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137



お出かけスポットに ミタッチミ

高取焼大茶会

高取焼発祥の地である直方をPRするため毎年4月頃に商店街で行われるイベント。空き店舗や路上に茶席が設けられ、それぞれ茶席によって異なる茶菓子とお茶を楽しめます。当日は、福岡県無形民俗文化財の直方日若踊りや植木三串踊りが披露されるほか、高取焼陶芸体験、市内陶芸家の作品展示、ご当地グルメ焼きスパの販売なども行われます。



金剛山もととりあじさい園

市が所有する里山を地元市民団体「金剛山もととり保全協議会」が整備運営。山ろくに咲く、色とりどりのあじさいに心奪われます。例年6月中旬から7月上旬にかけて約3400株のあじさいが見ごろを迎え、あじさい祭りが開催されます。

期間中は地元の特産品なども販売し、多くの人が賑わいます。



福智山ろく花公園

2万本のスイセンや種類豊富なユリ、あじさい、紅葉など四季折々の花が咲き誇ります。芝生広場やアスレチック施設も完備し、季節ごとにイベントも催され、子どもから大人までたっぷり楽しめます。



サイクリングロード

令和元年11月「直方北九州自転車道」が全線開通しました。すでに開通している「飯塚直方自転車道」と合わせると全長47.3キロメートルものサイクリングロードになります。また、遠賀宗像自転車道にも繋がっています。車の危険を感じず安全に、自然を楽しみながら、サイクリングを楽しむことができます。



オートキャンプ場

福智山と遠賀川の雄大な景色の中、街なかで気軽にキャンプが楽しめます。当日は、福岡県無形民俗文化財の直方日若踊りや植木三串踊りが披露されるほか、高取焼陶芸体験、市内陶芸家の作品展示、ご当地グルメ焼きスパの販売なども行われます。



直方夏まつり、直方山笠

約6000発の花火と約1キロに及ぶナイアガラが夜空を飾り、水面を彩る花火大会は、見ごたえ抜群。打ち上げ場所と観覧席が近く、臨場感たっぷりです。同日、追い山笠も行われ、夏まつりをより一層盛り上げます。



福智山

標高901メートル。福智山山系の主峰で、林野庁「水源の森百選」に選ばれた豊かな森林があり、山頂からの360度の眺望や滝など見どころいっぱい。野鳥の宝庫でバードウォッキングも満喫できます。



のおがたチューリップフェア

毎年、4月上旬に開催される直方を代表するイベント。色とりどりの様々な品種のチューリップが遠賀川の河川敷を彩ります。満開の桜や菜の花、遠くに望む福智山と一緒に、直方の春を盛り上げます。期間中は土日を中心に、20万人以上の人で賑わいます。



自慢の品に ミタッチミ

直方B級グルメ 焼きスパ

1軒の喫茶店で学生の味として愛された青春の味。閉店後、幻の味となっていたが、直方のB級グルメ募集で、多数の声が寄せられ、復活。公式認定を受けた市内の複数飲食店で提供中。

- 1. パスタ麺を使う
- 2. キャベツ・タマネギ・豚肉を入れる
- 3. トマトケチャップベースのソース味
- 4. 麺や具材を焼く



米

米は総農地面積の約3分の2で生産されている直方の主力農産物です。各地域でオリジナル米を作るなど、力を入れています。



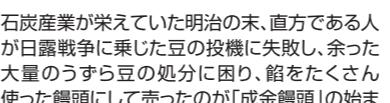
せんべい

全国のお店や通販でおなじみの「もち吉」。創業80年以上の会社が作るおせんべいは職人技が生み出す一枚。



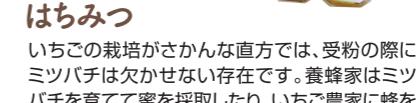
直方銘菓 成金饅頭

石炭産業が栄えていた明治の末、直方である人が日露戦争に乗じた豆の投機に失敗し、余った大量のうすら豆の処分に困り、餡をたくさん使った饅頭にして売ったのが「成金饅頭」の始まりと言われています。直方の炭鉱王・貝島太助もお気に入りだったという豪快な饅頭。最大のものは直径26cm、重さ約3kg。



はちみつ

いちごの栽培がさかんな直方では、受粉の際にミツバチは欠かせない存在です。養蜂家はミツバチを育てて蜜を探したり、いちご農家に蜂を貸出したりしています。直方市周辺の花から採れる百花蜜(さまざまな花から集められたはちみつ)は、質感がなめらかで、甘さはスッキリとしていて、澄んだ黄金色。上品なコクがあり、クセの少ないレシピのはちみつも取れます。



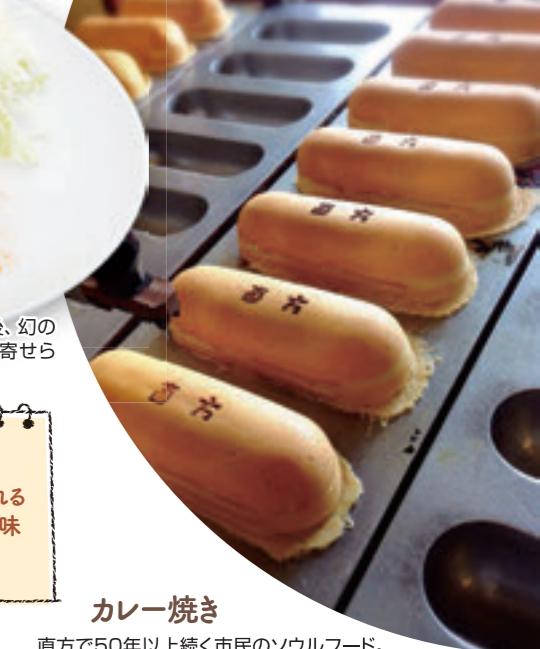
染物

明治43年から続くひしや染物店では、のれんや手ぬぐい、はっぴなどオーダーメイドで一品一品を手作業で仕上げています。



陶芸

高取焼発祥の地直方には、陶芸の窯元が点在しています。伝統の技術を受け継ぐものから枠にとらわれない技法を取り入れたものまで、いろいろな作品を目にすることができます。



カレー焼き

直方で50年以上続く市民のソウルフード。昔ながらのもっちり生地の中にはこだわりの野菜を何時間も煮込んで、最大限に甘みを引き出したカレーが詰まっています。

いちご

大粒で濃い甘みの「あまおう」は、1農家あたりの栽培面積が県内随一。



野菜、果物

雄大な自然の中の肥沃な土壤で育った、アスパラ、キャベツ、トマト、ブロッコリーなどのさまざまな野菜や、梨、ぶどう、いちじくなどの果物を、直売所で手に取ってみてください。

木工芸

木工芸河匠(かわしうわ)は、県内唯一の木工芸・日本工芸会正会員。木目を活かした漆器は、まさに伝統工芸の熟練の技です。





直方市のあゆみに ミタッчиミ

1926年(大正15年)	11月 直方町、福地村、下境村、頓野村、新入村の1町4村が合併、新直方町が誕生
1931年(昭和6年)	1月 市制施行／第1回市議会議員選挙
1933年(昭和8年)	4月 直方商工会議所の設立に認可
1935年(昭和10年)	6月 遠賀川大洪水
1937年(昭和12年)	1月 天神橋(鉄筋コンクリート)が完成
1941年(昭和16年)	6月 遠賀川大洪水
1947年(昭和22年)	9月 直方市消防団を結成
1948年(昭和23年)	3月 直方市消防署を設置
1949年(昭和24年)	5月 昭和天皇が、直方北小学校、筑豊鉱山学校、技術試験場などを視察される
1950年(昭和25年)	11月 直方市社会福祉協議会創立
1951年(昭和26年)	5月 竜王峠キャンプ村がはじまる
1953年(昭和28年)	6月 遠賀川大洪水
1955年(昭和30年)	3月 植木町を編入
1959年(昭和34年)	5月 直方青年会議所が発足
1961年(昭和36年)	4月 「植木三申踊り」が県の無形文化財に指定
1962年(昭和37年)	4月 「工場誘致条例」を施行
1964年(昭和39年)	4月 新入、頓野、福地、植木4農協が合併、直方市農業協同組合が発足
1968年(昭和43年)	5月 築栗線開通、直方～博多間が1時間20分となる
1969年(昭和44年)	1月 永満寺工業団地が完成
1970年(昭和45年)	4月 遠賀川サイクリング専用道路が開通(直方～飯塚)
1972年(昭和47年)	7月 直方、鞍手広域市町村圏事務組合が発足
1973年(昭和48年)	1月 直方工業団地が完成
1975年(昭和50年)	4月 市の木は「泰山木」に、市の花「水仙」と「カンナ」に決定
1977年(昭和52年)	4月 市内41地区ステーション方式によるゴミの週2回収集を開始



1979年(昭和54年)	6月 集中豪雨で大きな被害 9月 古高取焼内ヶ磯跡発掘調査を開始
1980年(昭和55年)	1月 須崎神社の飛び石「世界最古のいん石」か、とマスコミをにぎわす
1981年(昭和56年)	10月 市民憲章を制定 市政施行50周年を祝う
1983年(昭和58年)	8月 東勘六橋が完成
1985年(昭和60年)	5月 中小企業大学校直方校が開校 10月 第14回国勢調査(人口64,479人、市制施行以来最高を記録)
1986年(昭和61年)	7月 鷹取城跡発掘調査を開始
1989年(平成元年)	10月 平成筑豊鉄道が開業、直方駅開業 12月 「情報公開条例」を制定
1990年(平成2年)	9月 下新入帯田遺跡発掘調査で弥生時代の「異形の玉」5点が出土
1991年(平成3年)	4月 直方市シルバー人材センター発足
1996年(平成8年)	3月 直方市花の都市宣言／福智山ろく花公園がオープン 4月 水町遺跡を直方市史跡に指定／直方市自治区長連合会が発足 7月 直方鉄工マイスター制度を開始
1997年(平成9年)	4月 のおがたチューリップフェスタがはじまる 6月 安全パトロール隊(子ども110番のいえ)組織が結成 6月 「直方市個人情報保護条例」施行 7月 女性消防団員の誕生
1998年(平成10年)	2月 ごみの有料指定袋制を実施
1999年(平成11年)	3月 植木桜づみ公園がオープン 4月 水町遺跡公園がオープン／直方歳時館がオープン 4月 直方農業マイスター制度を開始 7月 のおがた夏まつりが開始 11月 のおがた産業まつりが開始
2000年(平成12年)	3月 ユメニティのおがた大ホールがオープン 5月 大閑船皇閣が初優勝 11月 花の観光地づくり大賞を受賞
2001年(平成13年)	4月 直方谷尾美術館がオープン 4月 新たな市の花「チューリップ」「ユリ」「コスモス」「水仙」、木「泰山木」「やまぼうし」に決定 7月 新図書館がオープン 10月 JR九州福北ゆたか線の電化開業
2002年(平成14年)	4月 ADOX福岡(直鞍産業振興センター)がオープン
2003年(平成15年)	2月 ゆたか橋が開通 3月 菜の花大橋が開通 7月 「直方市男女共同参画推進条例」を施行 11月 全国花のまちづくりコンクールで優秀賞受賞
2004年(平成16年)	2月 福智山ダムが完成 10月 植木メカトロタウン(貸し工場)オープン
2006年(平成18年)	9月 公共下水道供用開始 10月 植木桜づみ公園パークゴルフ場オープン
2008年(平成20年)	7月 バブリックコメント制度開始
2009年(平成21年)	7月 「直方市暴力団等追放推進条例」施行 10月 情報メール「つながるのおがた」開始
2010年(平成22年)	6月 北小川排水ポンプ場供用開始 7月 上頓野産業団地分譲開始 11月 「直方焼きスパ」を地域のB級グルメに認定
2011年(平成23年)	4月 新直方駅舎が移転新築 7月 小字地名表記を廃止
2013年(平成25年)	3月 十一面鏡音像(下新入)県有形指定文化財に指定 3月 直方市自治区公民館連合会発足 12月 殿町古町の建造物8棟が登録有形文化財に登録
2014年(平成26年)	1月 直方市観光物産協会設立 10月 大閑船皇像 JR直方駅前に建立
2017年(平成29年)	3月 N-biz(直鞍ビジネス支援センター)オープン
2018年(平成30年)	10月 筑豊石炭鉱業組合直方会議所(現石炭記念館)及び救護練習所模擬坑道が国指定史跡に
2019年(令和元年)	4月 直方中央公園リニューアルオープン 9月 地方版IoT推進ラボに選定 11月 直方北九州自転車道開通 12月 九州大学と連携協定締結「新国富指標」を活かしたまちづくり



1979年(昭和54年)
6月 集中豪雨で大きな被害
9月 古高取焼内ヶ磯跡発掘調査を開始

1980年(昭和55年)
1月 須崎神社の飛び石「世界最古のいん石」か、とマスコミをにぎわす

1981年(昭和56年)
10月 市民憲章を制定
市政施行50周年を祝う

1983年(昭和58年)
8月 東勘六橋が完成

1985年(昭和60年)
5月 中小企業大学校直方校が開校
10月 第14回国勢調査(人口64,479人、市制施行以来最高を記録)

1986年(昭和61年)
7月 鷹取城跡発掘調査を開始

1989年(平成元年)
10月 平成筑豊鉄道が開業、直方駅開業
12月 「情報公開条例」を制定

1990年(平成2年)
9月 下新入帯田遺跡発掘調査で弥生時代の「異形の玉」5点が出土

1991年(平成3年)
4月 直方市シルバー人材センター発足

1996年(平成8年)
3月 直方市花の都市宣言／福智山ろく花公園がオープン
4月 水町遺跡を直方市史跡に指定／直方市自治区長連合会が発足
7月 直方鉄工マイスター制度を開始

1997年(平成9年)
4月 のおがたチューリップフェスタがはじまる
6月 安全パトロール隊(子ども110番のいえ)組織が結成
6月 「直方市個人情報保護条例」施行
7月 女性消防団員の誕生

1998年(平成10年)
2月 ごみの有料指定袋制を実施

1999年(平成11年)
3月 植木桜づみ公園がオープン
4月 水町遺跡公園がオープン／直方歳時館がオープン
4月 直方農業マイスター制度を開始
7月 のおがた夏まつりが開始
11月 のおがた産業まつりが開始

2000年(平成12年)
3月 ユメニティのおがた大ホールがオープン
5月 大閑船皇閣が初優勝
11月 花の観光地づくり大賞を受賞

2001年(平成13年)
4月 直方谷尾美術館がオープン
4月 新たな市の花「チューリップ」「ユリ」「コスモス」「水仙」、木「泰山木」「やまぼうし」に決定
7月 新図書館がオープン
10月 JR九州福北ゆたか線の電化開業

2002年(平成14年)
4月 ADOX福岡(直鞍産業振興センター)がオープン

2003年(平成15年)
2月 ゆたか橋が開通
3月 菜の花大橋が開通
7月 「直方市男女共同参画推進条例」を施行
11月 全国花のまちづくりコンクールで優秀賞受賞

2004年(平成16年)
2月 福智山ダムが完成
10月 植木メカトロタウン(貸し工場)オープン

2006年(平成18年)
9月 公共下水道供用開始
10月 植木桜づみ公園パークゴルフ場オープン

2008年(平成20年)
7月 バブリックコメント制度開始

2009年(平成21年)
7月 「直方市暴力団等追放推進条例」施行
10月 情報メール「つながるのおがた」開始

2010年(平成22年)
6月 北小川排水ポンプ場供用開始
7月 上頓野産業団地分譲開始
11月 「直方焼きスパ」を地域のB級グルメに認定

2011年(平成23年)
4月 新直方駅舎が移転新築
7月 小字地名表記を廃止

2013年(平成25年)
3月 十一面鏡音像(下新入)県有形指定文化財に指定
3月 直方市自治区公民館連合会発足
12月 殿町古町の建造物8棟が登録有形文化財に登録

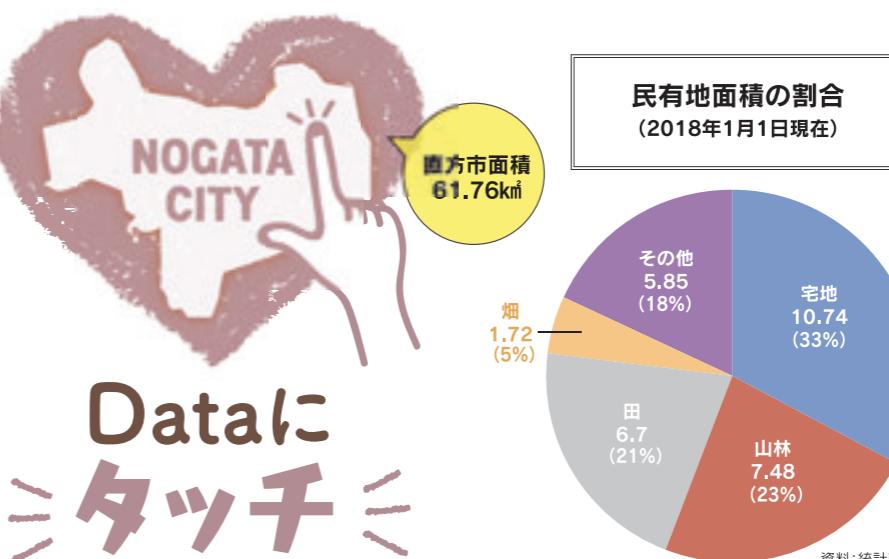
2014年(平成26年)
1月 直方市観光物産協会設立
10月 大閑船皇像 JR直方駅前に建立

2017年(平成29年)
3月 N-biz(直鞍ビジネス支援センター)オープン

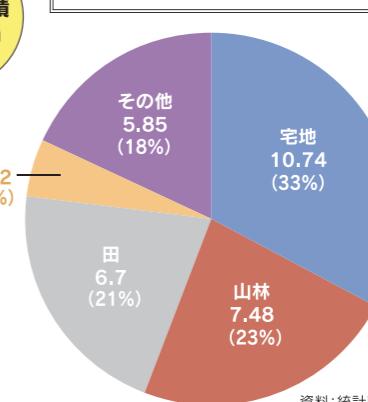
2018年(平成30年)
10月 筑豊石炭鉱業組合直方会議所(現石炭記念館)及び救護練習所模擬坑道が国指定史跡に

2019年(令和元年)
4月 直方中央公園リニューアルオープン
9月 地方版IoT推進ラボに選定
11月 直方北九州自転車道開通
12月 九州大学と連携協定締結「新国富指標」を活かしたまちづくり

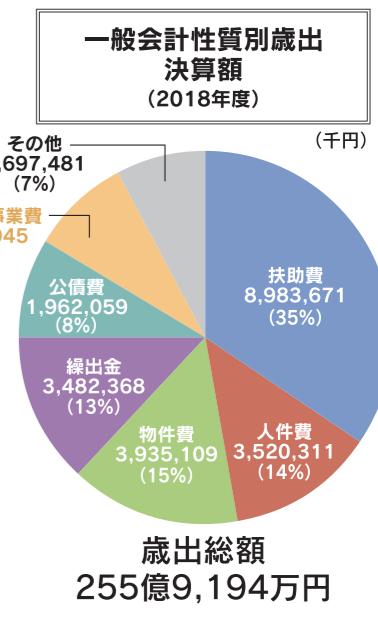
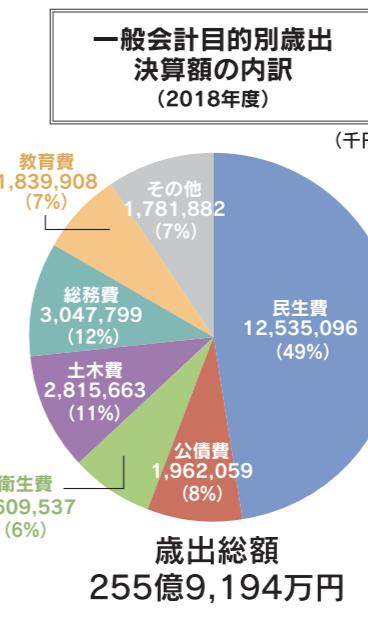
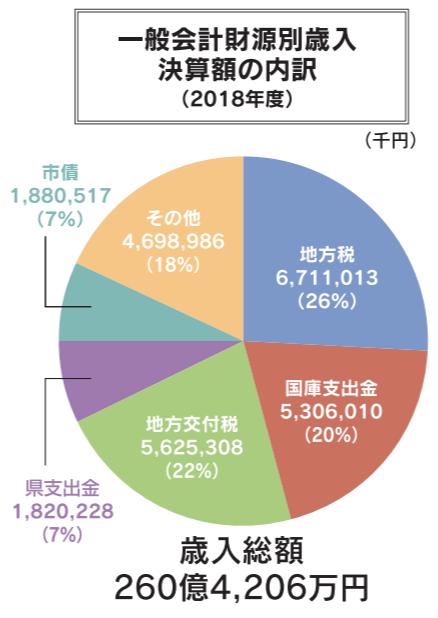
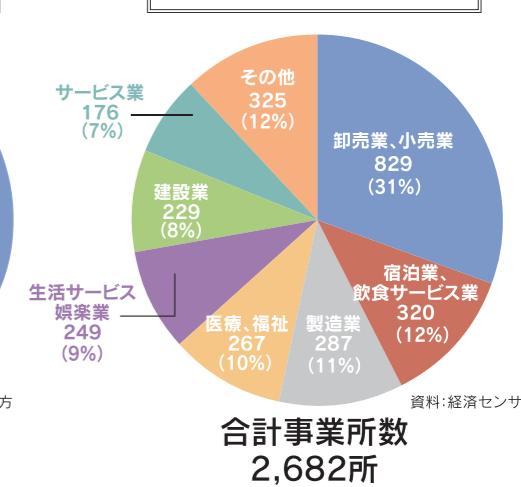
「新国富指標」を活用した
まちづくりに関する連携協定締結式



民有地面積の割合
(2018年1月1日現在)



産業別事業所数
(2014年、民営)



《財政指標》

年度	標準財政規模	経常収支比率	財政力指数 (単年度)	財政力指数 (3年平均)	実質公債費比率	財政調整基金 (一般会計)	地方債現在高 (一般会計)
2017	13,108,046千円	98.80%	0.565	0.561	8.0%	3,074,142千円	20,608,747千円
2018	13,074,809千円	96.4					